

BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド

愛称：ブラジルの奇跡 追加型投信/海外/株式

足下の運用状況と今後の見通しについて

平素は「BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当レポートでは、足下の運用状況と今後の見通しについてご報告させていただきます。

■当ファンドの足下の運用状況について

当ファンドの5月末の基準価額は8,291円となりました。2月末対比では2,103円下落し、騰落率は-20.2%となりました。ブラジルの代表的な株価指数であるボベスパ指数は、3月から5月中旬まで85,000近辺でのみ合いが続いていましたが、5月末にかけて大きく下落し、当該期間で-10.1%（現地通貨ベース）となりました。一方、ブラジル・リアルは、2月末時点で32円台後半（対円レート）で推移していたものの、当該期間を通じて下落基調が続き、5月末時点では29円台前半となりました。当ファンドの基準価額は、短期的に上昇する場面があったものの、株式市場の下落やブラジル・リアル安進行などを受けて、2月末から5月末にかけて下落基調が続きました。

基準価額の推移

2010年1月12日～2018年5月末



※基準価額は1万口あたりとなっています。基準価額、税引き前分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものです。

ファンド騰落率

2018年5月末基準

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-15.46%	-20.23%	-12.87%	4.91%	-0.05%	-12.65%

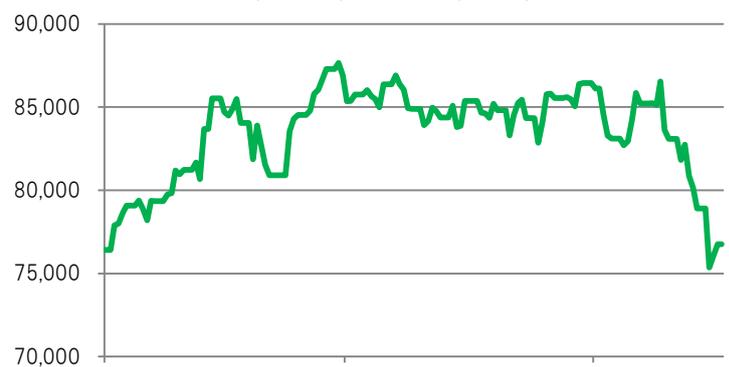
※騰落率については、基準価額に税引き前分配金を再投資して計算しています。

■ブラジル株式市場の状況について

ブラジルの代表的な株価指数であるボベスパ指数は、世界経済の拡大基調が続くと期待が高まったこと、商品市況が堅調に推移したこと、及び、ブラジル経済の底入れなどから、昨年12月以降、買い優勢の展開が続き、2月後半には史上最高値となる88,317.83まで上昇しました。また、物価統計の落ち着きなどを背景に緩和的な金融政策が続いていることなども株価の上昇要因となりました。しかしながら、3月から5月半ばまでは、米中貿易問題の顕在化などを受けて上値が重くなり、85,000近辺での推移が続きました。5月後半は、燃料価格の高騰に抗議するトラック運転手の大規模ストライキが発生したことに加え、市場予想に反した政策金利の据え置きなどから金融政策への不透明感が強まり、株式市場は大幅に下落しました。

ブラジル株価(ボベスパ指数)の推移

2017年12月末～2018年5月末



2017年12月 2018年2月 2018年4月
出所：ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成



BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド

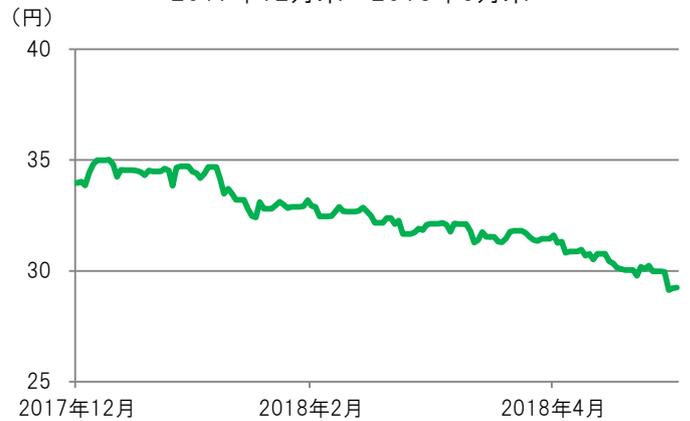
愛称：ブラジルの奇跡 追加型投信/海外/株式

■ブラジル・レアルの状況について

ブラジル・レアルは、2月末時点で1レアル＝32円台後半で推移していましたが、5月末には29円台前半まで下落しました。3月上旬に、トランプ米大統領が鉄鋼とアルミニウムの輸入に関税を賦課する計画を明らかにしたことなどを契機に世界貿易が大きく減速するとの懸念が高まり、新興国市場全体が大きく下落しました。また、4月上旬に、本年10月に予定されている大統領選挙の有力候補者であるルラ元大統領（汚職容疑で裁判中）の大統領選挙への出馬の可能性がほぼ不可能な状況となったことで、大統領選挙に対する不透明感が大きく高まったことなどもマイナス要因です。金融政策については、5月16日の金融政策委員会において、0.25%の追加利下げを見込む市場予想に反して、①新興国に対する不透明感、②通貨下落によるインフレ懸念、などを理由に政策金利の据え置き(6.50%)が決定されたことなども嫌気され、2月末から5月末にかけてブラジル・レアルの下落基調が続きました。

ブラジル・レアル(対円)の推移

2017年12月末～2018年5月末



出所：ブルームバーグのデータを基にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

■今後の見通しについて

今後のブラジル資産(株式及びブラジル・レアルなど)の見通しを検討する上で、最大の注目材料は本年10月に予定されている大統領選挙の動向です。上記のように、各種世論調査で支持率が高いルラ元大統領の出馬が困難となっています。加えて、現時点で市場からの評価が高く、有力候補の一人と目されているアルキミン前サンパウロ州知事についても、同氏が所属しているブラジル社会民主党(PSDB)が別の候補者擁立で動き始めたと報道されるなど、大統領選挙の行方は混迷を極めています。このような環境下、海外投資家の中では、大統領選挙に対する不透明感を理由に、ブラジル資産への投資を敬遠する動きが強まっています。

ブラジル経済は、インフレの鎮静化などを背景にブラジル中央銀行が2016年10月以降政策金利の引き下げを断続的に実施、景気配慮型の金融政策に移行してきたことなどが奏功した結果、2017年第2四半期にプラス成長(前年比ベース)となるなど、今後も底堅い成長が続く見込みです。米国や中国を中心に世界経済の拡大基調が続いていることや、商品市況が底堅く推移していることなどを勘案すれば、ブラジル・レアルは中期的に最も良好なパフォーマンスが期待できる通貨の1つであるとの見通しに変わりありません。しかしながら、大統領選挙、金融政策、及び、インフレ動向に対する不透明感などがブラジル・レアルの上値を抑える要因となり得るため、もう暫くは軟調な推移が続くと考えます。

ブラジル株式市場については、ボブスパ指数で大きなウェイトを占めるブラジル石油公社(ペトロbras)のペドロ・パレンチ最高経営責任者(CEO)がトラック運転手の長期ストライキの影響から辞任を表明したことに象徴されるように、政府介入による民間企業への圧迫などが海外投資家の反感を買っています。また、当該ストライキによる国内経済や財政赤字などに対する影響は限定的であるものの、大統領選挙の各候補者の経済政策に大きな影響を及ぼす可能性があります。国内経済が持ち直しつつあること、政策金利が過去最低水準にあること、及び株価のバリュエーションに注目した安値買いの動きがあることなどは今後のブラジル株式市場のサポート要因ですが、大統領選挙を巡る不透明感が熾り続ける中で、当面は価格変動性の高い状況が継続すると考えます。

BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド

愛称：ブラジルの奇跡 追加型投信/海外/株式

ファンドの特色

- 主として、ブラジル企業の株式に投資を行い信託財産の中長期的な成長を図ることを目標とします。
- 主として、ブラジルのインフラ・消費に関連する企業の株式の中から銘柄を厳選してポートフォリオを構築します。
- 当ファンドの運用の指図に関する権限は、BNYメロン・グループ傘下の運用会社であるARXインベストメントSLTDAに委託します。
- 外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。

投資リスク

当ファンドは、主としてブラジル企業の株式への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もありません。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。また、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

ファンドの費用

投資家が直接的に負担する費用

購入時手数料	3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を、購入申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。 ※自動継続投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、申込手数料はかかりません。	《当該手数料を対価とする役務の内容》 販売会社が、商品および関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、購入時に頂戴するものです。
信託財産留保額	ありません。	

投資家が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に年率2.0196%(税抜1.87%)を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。運用管理費用(信託報酬)の配分は、以下のとおりです。	
合計	年率2.0196%(税抜1.87%)	《当該運用管理費用を対価とする役務の内容》
(委託会社)	年率0.90%(税抜)	信託財産の運用指図(投資顧問会社による運用指図を含む)、目論見書・運用報告書の作成等
(販売会社)	年率0.90%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	年率0.07%(税抜)	信託財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行、信託財産の計算等
その他費用・手数料	当ファンドの投資顧問会社への投資顧問報酬 委託会社の受取る報酬には、当ファンドにおいて運用の指図権限を委託しているARXインベストメントSLTDAへの投資顧問報酬が含まれます。その額は、信託財産の純資産総額に、年率0.63%を乗じて得た額とします。 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等、その他の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。 (注)ブラジル国内株式への投資に伴う為替取引については、非居住者に対して金融取引税(2018年1月末現在0%)が課せられる場合があります。ブラジルにおける当該関係法令が改正された場合には、取扱いが変更されることがあります。 ◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。	

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※手数料・費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

委託会社、その他関係法人

委託会社 (信託財産の運用指図等)



BNY MELLON

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第406号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

販売会社 (募集・販売の取扱い等)



東海東京証券

東海東京証券株式会社
金融商品取引業者：東海財務局長(金商)第140号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

受託会社 (信託財産の保管・管理業務等) 三井住友信託銀行株式会社

ご留意事項

■当資料は、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成した資料です。■当資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。■当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに今後変更されることがあります。■当資料中のグラフ、数値等は過去のものまたはシミュレーションの結果であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。■当ファンドは、主に株式等値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する世界の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなる場合がありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。■当ファンドに生じた損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。■当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。